

# 行政視察等報告書

令和元年10月9日

境港市議会  
議長 終 康弘 様

自民クラブ  
荒井 秀 行



下記のとおり研修を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1 視察期間	令和元年7月31日(水)～令和元年8月1日(木)
2 視 察 先 及 び 内 容	1) 令和元年7月31日(水) ○千葉県銚子市 行政視察 13:30～16:20 ・水産を活かしたまちづくりについて ・外国人労働者受け入れについて  2) 令和元年8月1日(木) ○《東京ビッグサイト》 13:00～17:30 「全国地方議会サミット」～チーム議会が地域をよりよくする～
3 視察議員	荒井秀行、永井 章、佐名木知信、築谷敏雄
4 視察経費	合計(4名) 279,160円(一人当たり69,790円) ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所見等	別紙のとおり

## 1) 令和元年7月31日(水)

報告者：荒井 秀行

視察内容：○千葉県銚子市 13:00～16:20

・水産を活かしたまちづくりについて

・外国人労働者受け入れについて

説明者：銚子市役所 水産課課長 浪川 秀樹

8年連続水揚げ量全国一位を誇り、境漁港が進める高度衛生管理型市場整備事業と同様の整備を進めている銚子漁港を持つ銚子市を訪れ、漁港管理体制と市の関わりや水産物の高付加価値化への取り組み等、また、外国人受け入れによる労働力不足解消や多文化共生社会の取り組み等、その現状や課題などを調査した。

銚子市役所にて浪川秀樹水産課長をはじめ企画政策課・観光商工課職員の説明を受けた、質疑応答及び意見交換を行った後、第1～3市場や市場関連施設等を見学し、視察を終了した。

### 〈感想〉

水揚げ量日本一ではあるが、水揚げ金額は全国4位といわし・サバ等の大衆魚が多く揚がる銚子港において、高付加価値化への取り組みとして、銚子つりきんめ(キンメダイ)や入梅いわし等のブランド化・PR、また、国・県・市と一体となった水産漁業の活性化へ向けた体制強化等、本市と同様な課題が多く問題意識の共有が出来た。

また、外国人労働者2,195人の内540人が水産漁業関連の技能実習生(昨年度)との事で、今後、多文化共生社会への取り組み強化と合わせて、受け入れ企業とも積極的に連携したいとの考えだった。

本市の抱える水産漁業の課題解決に向けて、国・県・市及び関連企業との連携強化は必要不可欠だと改めて感じた。

## 2) 令和元年8月1日(木)

報告者：荒井 秀行

研修内容：○「全国地方議会サミット」～チーム議会が地域をよりよくする～

1 基調講演：なぜ今「チーム議会」が必要なのか 13:00～

講師：北川正恭(早稲田大学名誉教授)

2 パネルディスカッション：NHK 地方議員2万人アンケートのホンネ 13:20～

江藤俊昭(山梨学院大学)

杉田淳(NHK報道局選挙プロジェクト副部長)

久保隆(NHK報道局選挙プロジェクト記者)

- 3 パネルディスカッション：チーム議会に職員だからできること 14:20～  
清水克士（大津市議会局次長）  
小原昌江（北上市議会事務局議事課長）  
岩崎弘宜（取手市議会事務局次長）  
小林宏子（羽村市議会事務局長）
- 4 先進事例紹介：A I ・ I C Tで議会の未来を切り拓く 15:35～  
松田崇義（㈱メディアドリ）
- 5 講演：チーム議会の視点から見える議会・議員の役割 16:20～  
講師：片山善博（早稲田大学教授）
- 6 総括：まとめ  
講師：北川正恭（早稲田大学名誉教授）

議会改革といえば、4、5年前までは、①定数の削減、②歳費の削減、③政務調査費の削減が中心であったが、今、議員、議会が立ち上がる時が来ている。

地方分権の大きな流れは国策であったが、これからの議会は住民のための議会ではない。

新しい議会改革では、地域の課題を解決する議会、住民福祉の向上に寄与する議会となり、「実質要件」を満たすことが求められている。そのことを実現するためには、議会だけでなく、議会事務局を含めた議会総体としての取り組みが欠かせない。つまり、議会と議会事務局が「チーム議会」となり、住民起点の実質的な成果を積み上げていかなければならない。

議会は予算や条例を決定する機関で、執行部は決定した事項を執行する機関である。また議長は市民の代表である。よって議会は市民のためのものである。（草の根民主主義）

決定する機関である議会は、そのための調査・研究が重要であり、その責任は極めて重いものである。

#### 【感想】

議会と執行部のあり方や議会と市民のあり方とその意味と行動を改めて認識した。  
議会は議会事務局職員と一体となり、市民に寄り添い、地域の活性化の一翼を担わなければならない。（議員活動の延長上の議会活動が必要。議会として全会一致の方針が必要）

現在、境港市議会においての大きな問題の一つに、市民の議会離れがある。その原因として、少なからず「市民から遠い議会」が起因するものとする。議会がチームとして市民の課題当たる必要性を強く感じた。